市長コラム

旬（しゅん）

富岡　勝則

皆さんこんにちは。

風薫る５月、緑が目にまぶしい季節になりました。市内でも、ツツジなどきれいな草花を見かけるようになりましたが、ひとつき前には寒のもどりの影響などから、予想より桜の開花も遅れ、残念ながら黒目川花まつりでの桜を見ることができませんでした。でも、幸いなことは、入学式には、暖かい日差しの中、満開の桜のもと新入生を迎えることができました。

さて、季節の旬の物といえば、四季折々おいしい食材がありますが、特にこの季節、野菜では、ぜんまい、竹の子、アスパラガス、魚は、アジ、ニシン、サワラ、フルーツでは、さくらんぼ、甘夏などのほか、たくさんの旬な物があります。皆さんのご家庭でも、旬の食材を使用した料理は、季節が感じられ、子どもたちにとっても食育の観点から学ぶことがたくさんあると思います。

以前から私は、地産地消を推奨しており、地元で採れるおいしい食材をできる限り使用した給食を子どもたちに提供したいと考えています。そのため、現在の朝霞市立第四、第五小学校の改築工事に合わせ、学校給食をセンター方式から自校方式に切り換えていきます。また、地産地消を推進するため、農家の皆さんのご協力をいただき、浜崎農業交流センターにおいて、季節によって品揃えの多少はありますが、旬の野菜やきれいな花々も販売いただいています。そのほか、市内でも、農家の庭先直売所で販売していますので、こちらの方もご利用いただきたいと思います。

地場産の旬な食材を活用することは、環境にも良いと考えられ、例えば、遠くからの輸送にかかるガソリン・電気などのエネルギーを抑制できること、また、燃料を必要とするハウス栽培などで使用するエネルギーの節約にもつながるといわれています。

市内の飲食店でも、地場産の食材を活用したおいしい料理などを提供していますので、ぜひ、お出かけください。

これからも、市民の皆さんにおいしい食材を提供していただけるよう、生産者の皆さんを応援していきたいと思います。

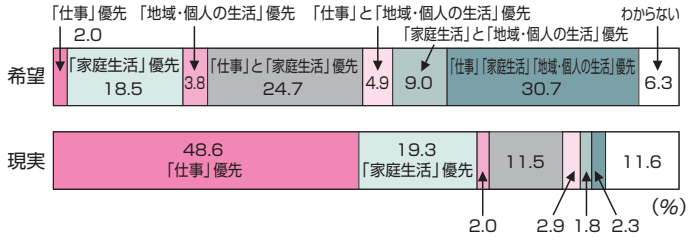
それでは、また。

朝霞市は男女平等を進めています

―統計データから読む男女共同参画②―

平成20年８月に内閣府が行った「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」に関する意識調査」では、「仕事」優先を理想とする人は2.0%に過ぎませんが、現実には約半数が「仕事」優先となっています。

生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度
（調査人数2,500人）



※このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問い合わせ／人権庶務課　内線2255　☎048-463-2697（直通）

投票行動意識調査結果メモ第８回

投票行動意識調査から頂いたご意見をご紹介します。

- 選挙公報の発行が遅い。候補者の意見をもっと早く知りたい。
- 選挙公報の配布を新聞以外でも各世帯に配布してほしい。

選挙公報は、候補者から出された掲載文を原文のまま掲載しています。

掲載文の申請は、選挙期日の告示があった日（立候補届出日）の午前８時30分から午後５時までの間にしなければなりません。

その申請締め切り後に掲載順序をくじで決定し、印刷します。

このため、市の選挙の場合、最短でも告示日から３日後の配布開始となりますので、ご理解ください。

選挙公報の配布は、新聞折り込みのほか、駅や市内の公共施設に備え置いています。

なお、選挙公報の入手が難しい方は、選挙管理委員会までご連絡いただければ、お届けします。

問い合わせ／選挙管理委員会
内線2412
☎048-463-2444（直通）
※選挙管理委員会の会議録は、市ホームページでご覧いただけます。

ひとの推移

人口	12万8,491人（＋41人）	**世帯数**	5万7,901世帯（＋64世帯）
男	6万5,844人（△９人）		
女	6万2,647人（＋50人）		

平成21年４月１日現在（　）内は前月比